

【中区】令和4年第1回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和4年2月4日 午前10時17分 ～ 午前11時10分
場 所	中区役所7階 703会議室・704会議室（WEB会議）
出席者	【座 長】松本研議員 【議員：2名】福島直子議員、伊波俊之助議員 【中区：16名】直井ユカリ区長、菅野孝義副区長、 秋元政博福祉保健センター長、越川健一福祉保健センター担当部長、 味上篤中消防署長、中山昭中土木事務所長 ほか関係職員
議 題	1 令和4年度中区個性ある区づくり推進費予算案について 2 その他
発言の 要 旨	議題1 令和4年度中区個性ある区づくり推進費予算案について 伊波議員：御説明、ありがとうございました。9ページの地域包括ケアの部分ですが、介護予防の健康長寿カレンダーが非常に好評だということであって、再度、作っていくということなんですけれども、介護の家族を抱えている現役世代とか、そういうところの方にきちっと渡るようにしたらいいなと思っているんですけども。この点は、例えば、極端な話したら孫世代含めて配布する必要があるんじゃないかなと思っているんですけども。現状は、御説明あったとおりの場所以外には配る予定ないのでしょうか。 栗山高齢・障害支援課長：御指摘いただいたように、確かに、現役世代の方にも行き渡った方がよろしいかなと思いますので、中区内の保育園、まずは認可保育園に配布して啓発を進めていきたいと思っております。ただ、全部の園児さんに配るというのは、なかなか難しいかと思っておりますので、まずは認可保育園に各1部ずつ配らせていただいて、御意見とか御感想をお聞きして、また配布範囲の拡大というものを検討していきたいと思っております。 伊波議員：ありがとうございます。特に中区は地方から出てきている方々が多く、田舎に親を残してきている方もいらっしゃるし、あるいは、中区のこういったものを田舎に送って、こういうのあるよということも、やっていく形もできるかなと思っておりますので。ぜひ、せっかく作りたい

いものですから、広く区民に行き渡るようにお願いいたします。

栗山高齢・障害支援課長：はい。分かりました。

伊波議員：それと、隣の、10ページのところなんですけど、子育て事業の中で、コンパス事業というのが新規事業とのことですが、ここに挙げている新たな専門家というのは、どういう方々を指しているのでしょうか。

瀬戸こども家庭支援課長：御質問、ありがとうございます。今回、新たに子育て講座をするということですが、こちらで考えておりますのは、状況に応じた子どもとの関わり方とか子どもを育児する様々な関わる家庭内でのコミュニケーションの取り方等です。アサーティブなコミュニケーション、家庭の中の円滑なコミュニケーション等も内容に入れていきたいと思っておりますので、そのような話に対応できる方ということで、主に心理職の方を現在想定しております。

伊波議員：何か資格を持っている有資格者が当たるということでもいいんですか。

瀬戸こども家庭支援課長：はい。現在、心理職の方を検討しております。

伊波議員：みんなでSTOPザ虐待のところですが、(6)番のところ、学齢期というのは要は義務教育を指すと思うのですが、例えば、横浜市立の高校生は、対象から外れるのでしょうか。

瀬戸こども家庭支援課長：はい。学齢期向け支援が今回の対象になりますが、動画に現在載せている相談先に、中区役所の相談先も載せております。中区の高校に通うお子さんは、居住地が中区以外という方もおまして、3年度につきましては高校での周知はしておりません。ただし、やはり虐待は多世代に渡るものになります。高校生につきましては神奈川県から県のLINE相談の周知を昨年7月に行っているということもあり、そちらでカバーしていただいたところがございます。来年度につきましては、カードの配布だけではなく、やはり多くの世代のお子様の目に届くような形にしたいと思っておりますので、カードの配布以外にも、自らアクセスしなくても動画を見られる機会をつくることを検討していきたいと思っております。また、市内全域で、こうした虐待防止の周知ができるように、こども青少年局とも連携を図りながら周知したいと思っております。

伊波議員：はい。分かりました。ちょっと、今日のオンラインもそうなん

ですけど。(通信状況が悪くて)果たして、これでいいんだろうか、って疑問符が何個もついてしまったのですが、例えば、デジ本部の予算の中で、モデル区を作っていくということだけでも、例えば、区長会とかデジ本部とは連携取れてるんでしょうか。

直井区長：区長会には、デジタル統括本部が、説明やヒアリング等に来ております。区役所も庁舎の状況等が異なりますので、均一的なDX推進というのも難しいところもございますが、可能な限り今の市庁舎に近くように区庁舎の中でのデジタル化も進めていただけるようお願いし、可能な限り次年度予算の要求もしていただいています。今後、また、予算が固まりましたら、具体的に、本部とは連携して区庁舎内のデジタル化も進めていきたいと考えております。

伊波議員：はい。ありがとうございます。無線LANですとか、そうした整備、4月からの新年度予算で上がってきてますし、西区と港南区がなぜかモデル区になっていて、中区なんていうのは、こうしたデジタルの部分、企業がたくさんありますし、あるいはオンラインでやっている民間が、市内でも一番多いのではないかと考えていますので、ぜひ、中区としても、企業でどういったものもしっかり取り入れているのかということ。今日みたいに、ブツブツと切れちゃったり、モチベーション下がってしまう会議だと、これは良くないと思いますので、ぜひ、また、中区の方で揉んでいただいて、全てが市民生活に、区民の生活に還元されていくという中で取り組んでいただきたいと思います。私からは以上です。

福島議員：13ページの中区愛はぐくみ事業ですが、なんとなく、今さらという感じもするのですが、これは意図するところはコロナで元気がなくなった地域や地域企業や様々な皆さんと中区の良さをもう一度再確認して、底上げで元気にしようと、そういう意図の事業と考えればいいのでしょうか。

直井区長：中区民の方は、特に地域活動に参加されている方は皆さん、非常に中区愛に満ちあふれた方が多くいらっしゃいます。地域活動等に参加されていない方などに、中区というものについての魅力を伝えることで、また感じていただくことで、街に関心を高めていただきます。関心が高まることは、いろいろ良い街づくりにつながると考えていますので、改めて事業化するものでございます。自分たちの街に関心を持つ方

が増えて、少しでも関わってくださる方が増える。そうしたことが防災にも、防犯にも、また、高齢化の中での見守り等にも、全て、その「つながり」が根底にあるという考え方から、今、改めて、中区愛をはぐくんでいこうというものです。

福島議員：なるほど。分かりました。確かに、先ほどの「中なかいいネ」の資料を拝見しているときに、中区民は幸福感を持っている人がいっぱいいるんだと、理解を深めました。ありがとうございます。全員が、みんなが、中区が大好きという人ばかりじゃないという都会の特色であるということも改めて認識をして区づくりに参加しようと考えました。発展的に行うというふうに理解をしました。もう一つ、伺いたいのは、10ページのみんなで子育てに関連して、中区内の保育所から、保護者の皆さん、毎日、おむつを持って行って帰っているのかどうか、もう一回確認したいのですが。当局見解では本年度から全部保育所で処理しているとおっしゃるんですけど、そうでもないようなお声が届いたものですか。これは公立の場合ですね、私立は、いろいろお考えがあるんだと思いますけど、私立というか、それぞれですね。公立の中区内の保育所は、おむつの持ち帰りはどういう取組をしてますか。

森山こども家庭支援課担当課長：公立保育園のおむつは、園の方で廃棄を三園ともしております。また、園内で管理するときも、感染症が広がらないように消毒等をしながら、きちんと管理をして廃棄をしているというような状況でございます。

福島議員：はい。ありがとうございました。つい最近、そういう何か、公立保育園が決まったけれど、おむつを持って帰る園のようなので困りますっていうメールが来てしまいまして、何か認識が違うなと思って、確認でした。三園とも持ち帰ることはございませんですね。ありがとうございます。

松本議員：僕からもちょっと確認をさせていただきたいと思いますが。まず、花と緑のまちの環境改善事業という形で、プランターですとか、園芸講習会、普及啓発、そうしたことは、やってらっしゃいますが、ガーデンネックレス横浜の推進ということで、区役所の裏ですとか、あのあたりを随分、毎年、チューリップやバラですとかいろいろきれいにセットしていただいたんですが、今年は、この花・緑のまちの環境改善事業の中ではガーデンネックレスについて記載がされていないのですが、今

年はガーデンネックレスとはやらないということなんでしょうか。

中山中土木事務所長：この花・緑のまちの環境改善事業は、違法駐輪ですとか、不法投棄が多い場所にプランター等を置いて改善するという趣旨のもので、ガーデンネックレスと必ずしも連動しているというものではありません。ただ、今年度は東京2020大会がありましたので、開港広場公園にイベント花壇という形で設けさせていただいておまして、この予算、来年度につきましては、区役所の前の横の花壇とか、そういったところにおもてなし花壇というものを作ろうかと考えております。

松本議員：そうすると、やらないということですね。分かりました。ガーデンネックレスの盛上げで、ぜひ、中区も対象にしてもらいたいということで、環境創造局の方に申入れをしていきたいと思っています。

中山中土木事務所長：はい。ありがとうございました。

松本議員：もう一点は、インクルーシブスポーツ事業という部分で、大通り公園ですけれども。昨年だったかな。大通り公園を活用したスポーツの実証体験コーナー等をいろいろ活用されたと思うのですが、大通り公園の活用について、今、中区は、何か考えてらっしゃるのでしょうか。

品川区政推進課長：大通り公園に関しましては、中区と地元と、関連する局で、どういうものがふさわしいのか、調整をしているところです。特に中区で何か主催をしてというところは、来年度、考えているものではございませんけれども、地域の方と一緒に、ふさわしいものがあれば、考えていきたいとも思っております。

松本議員：関東学院大学も、外観は、ほぼでき上がって、多くの若い方々が集う街になってまいりますので、ぜひ、大通り公園は、元気を発信できるようなスペースとして、ぜひ、活用いただくようお願いしたいと思っています。

伊波先生もおっしゃってましたけど、やっぱりもう少しDXに関しては、デジタル統括本部と連携が取れていれば良かったのかなと。また、区役所で、申込みを代行するということですが、もう既に実施されているのか。また、区役所のどちらのスペースで代行業務をやっているのか、教えていただければと思います。

梶原総務課長：ワクチン接種の予約代行の件でよろしいでしょうか。

松本議員：はい。

梶原総務課長：今、区役所の1階正面から入っていただいて、ぱびぽ広場、

	<p>突当りのところの広場になりますが、そこに相談員を4名置いて、予約代行の取扱いをさせていただいております。</p> <p>松本議員：今、かなり予約の代行の申込みというのはあるのでしょうか。</p> <p>梶原総務課長：接種ができるかどうかの相談も含めまして、今、20件から30件ほど、お問い合わせをいただいている状況です。予約代行も少しずつ始まっております。</p> <p>松本議員：分かりました。また、ぜひ、混乱のないようによろしく願いをしたいと思います。</p> <p>梶原総務課長：承知いたしました。</p> <p>松本議員：他に何か、先生方からは御質問はあるのでしょうか。それでは、他に御質問がなければ、本件につきましては、この程度にとどめさせていただきたいと思います。</p> <p>議題2 その他</p> <p>松本議員：次に議題の2のその他ですが、皆様から何か御発言はございますか。特にないようでございますので、本日の議題は全て終了いたしました。最後に事務局から何か連絡事項はありますか。</p> <p>梶原総務課長：はい。事務局から一点ございます。本日は音声途切れ途切れになってしまい、申し訳ありませんでした。非常にストレスフルな会議だったかと思っております。次回に向けて改善に努めたいと思っております。</p>
<p>備 考</p>	